

新学年第1回入室テスト 予想問題

新4年（現3年）算数

（時間……40分）

★問題用紙は全部で15まいです。

① 次の にあてはまる数を数字で答えましょう。

(1) $3269 + 6538 =$

(2) $4213 -$ $= 1278$

(3) $57 - 63 \div 7 =$

(4) $417 \times 26 =$

(5) $697 \div 6 = \square$ あまり \square

(6) $28 + \square \times 8 = 84$

(7) $8\text{ L } 9\text{ dL} + 6\text{ L } 5\text{ dL} = \square\text{ L } \square\text{ dL}$

(8) $5\text{ 時間 } 25\text{ 分} + \square\text{ 時間 } \square\text{ 分} = 12\text{ 時間 } 10\text{ 分}$

(9) $21\text{ km } 40\text{ m} - 15\text{ km } 800\text{ m} = \square\text{ km } \square\text{ m}$

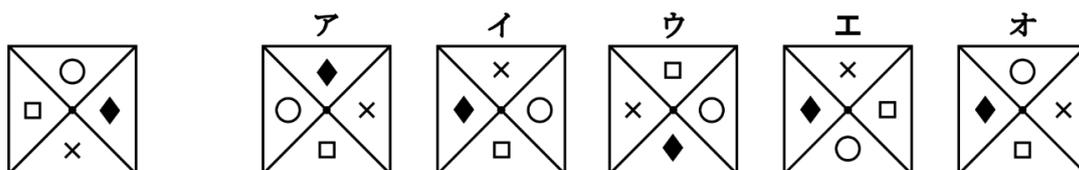
② 次の問題に数字で答えましょう。(3)、(4)は記号で答えましょう。

(1) はるま君は 2000 円を持って 1 本 80 円のペンを 7 本買ったあと、お父さんから 150 円をもらいました。いま何円持っていますか。

(2) あるきまりにしたがって、左からじゅんに数をならべていきます。左から 27 番目までにある 3 を全部たすといくつになりますか。

2、3、1、3、4、2、3、1、3、4、2、3、……

(3) 下の図形を、点 (・) を中心として回転させます。このとき、回転させてもできない図形を、ア～オの中から 2 つえらんで、記号で答えましょう。



(4) A、B、C、D、E の 5 人が 20 点まん点のテストを受けたところ、5 人の点数は下の通りになりました。

A…14 点

B…13 点

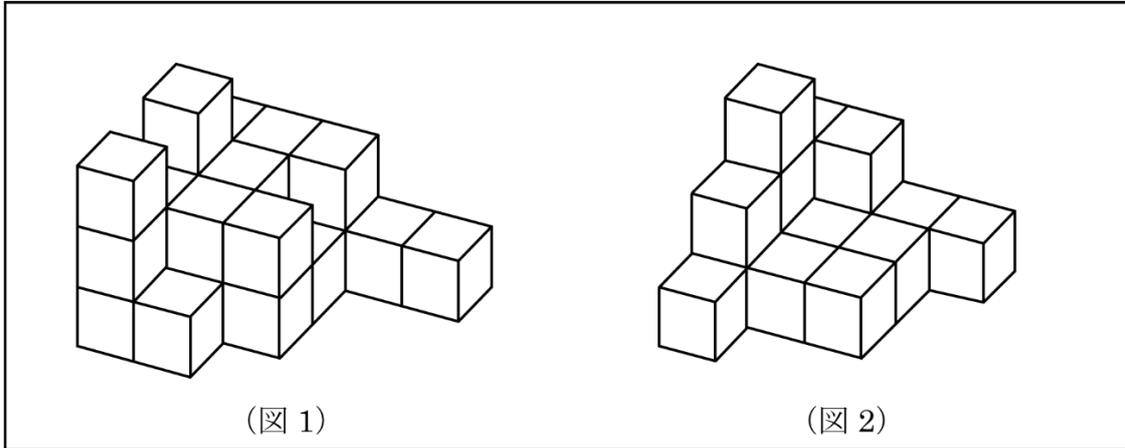
C…16 点

D…9 点

E…17 点

テストが終わった後に、先に帰った 2 人の点数以外の 3 人の点数をすべて足し合わせると、46 点になりました。先に帰った 2 人はだれとだれですか。記号で答えましょう。

- (5) ゆうき君は立方体のかたちをした積み木であそぶため、下の(図1)のようにつまれた積み木のうち、何かを自分の部屋に持ってゆきました。ゆうき君が積み木を持っていった後、のこった積み木は(図2)のようにつまれていました。ゆうき君が持っていた積み木は全部で何こですか。



- (6) 下の①から④の4つのヒントにあてはまる数を答えましょう。

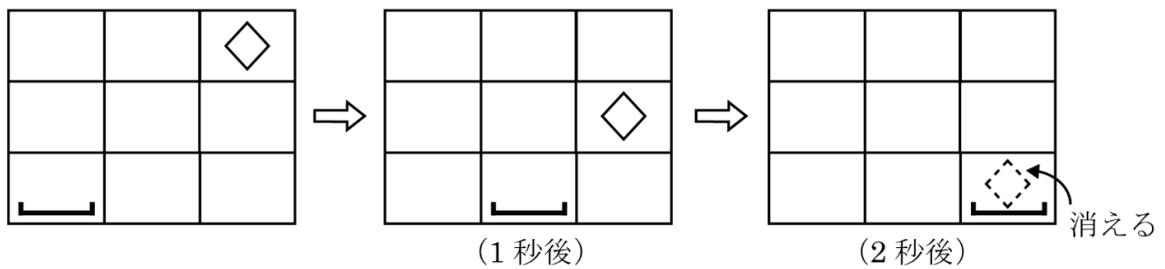
- ① 2けたの数です。
- ② 十の位の数と一の位の数をつたすと13です。
- ③ 65より小さい数です。
- ④ 7でわりきれます。

③ 次のようなきまりのゲームがあります。

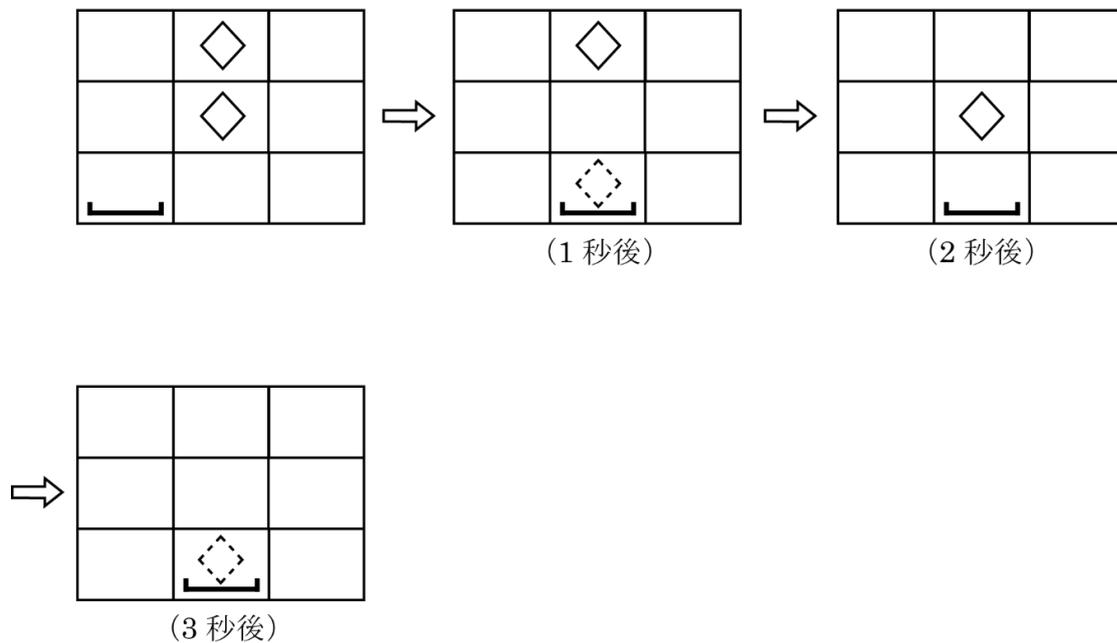
<きまり>

1. 下のようなマス目を、ダイヤモンドのかたちの石が1秒で1マス下に動きます。ただし、下のマスが空いていないときは動かず、下のマスが空いてから動きます。
2. 石を受けとめる皿は、はじめは1番下の左はしにあり、1秒で左右に1マスずつ動かすことができます（動かさなくてもよいです）。
3. 皿が石を受けとめると、石はすぐに消えます。皿は、石を受けとめた1秒後には別の石を受けとめることができます。

【れい1】



【れい2】



(1) 下の図のように石がならんだ場合、ぜんぶの石を受けとめることができます。このときの皿が石を受けとめる順番を、「○、△、□」のかき方で答えましょう。

※点線の中のマス目をつかって考えてもかまいません。

ア	ウ	
イ		

(2) 下の図のように石がならんだ場合、ぜんぶの石を受けとめることができます。このときの皿が石を受けとめる順番を、「○、△、□、×」のかき方で答えましょう。

※点線の中のマス目をつかって考えてもかまいません。

ア	ウ	
イ		
	エ	

(3) 下の図のように石がならんだ場合、ぜんぶの石を受けとめることができます。このとき、皿がぜんぶの石を受けとめるまでに何秒かかりますか。

※点線の中のマス目をつかって考えてもかまいません。

◇	◇	
◇	◇	
◇		

(4) 下の図のように石がならんだ場合、ぜんぶの石を受けとめることができます。このとき、皿がぜんぶの石を受けとめるまでに何秒かかりますか。

※点線の中のマスをつかって考えてもかまいません。

	◇	◇
	◇	
◇	◇	
	◇	

A dashed box encloses the following 12 empty 6x3 grids:

④ 次のようなきまりでカードの並び方を予想します。

<きまり>

- 1から4の数字がかかれたカードがたくさんあります。
- [せいかい]に、カードがどんなじゅんでならんでいるかを予想します。
- 予想した[けっか]と[せいかい]をくらべます。
予想したカード1まいについて、予想したカードのいちと、そのカードにかかれた数字が予想とおなじときは、○とします。予想したカードのいちがちがっていたけれど、カードにかかれた数字がおなじカードが、予想とちがういちにいたときは、△とします。予想した数字のカードが、どのいちにもいなかったときは、×とします。
- 答えの[けっか]は、○、△、×のじゅんにならべます。

【れい1】

AさんとBさんの2人が予想したけっかが下の通りです。

[けっか]

Aさんの予想 ③ ② ② ① ○ ○ △ ×

Bさんの予想 ④ ① ③ ② △ △ △ ×

[せいかい]

① ② ④ ①

【れい2】

AさんとBさんとCさんの3人が予想したけっかから、[せいかい]を考えます。

[けっか]

Aさんの予想 ② ③ ② ① ○ ○ × ×

Bさんの予想 ③ ① ④ ② ○ △ △ ×

Cさんの予想 ④ ④ ① ③ ○ △ △ △

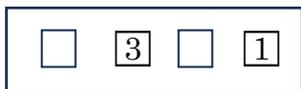
[せいかい]

① ② ④ ①

【れい2の考え方】

AさんとBさんの予想に×があることから、Cさんの予想とくらべると、Aさん、Bさんの予想にあって、Cさんの予想にない②が×とわかります。

Aさんの、2まいの②以外は○ですので、③と①のカードはいちもあっているとわかります。→

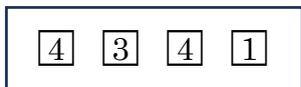


次に、Bさんの予想で③が○とすると、④が△になりますが、④が入る場所がなくなってしまいます。よって、Bさんの予想で○なのは④になります。



最後にCさんの予想の④が○とわかりますので、[せいかい]は下のようになります。

[せいかい]



(1) [せいかい]のカードの並び方から、Aさん、Bさん、Cさん、Dさんそれぞれの予想のけっかを考えて、【れい】のように、わくの中に○、△、×を書き入れましょう。

[けっか]

Aさんの予想 ④ ④ ④ ②

--

Bさんの予想 ④ ② ③ ①

--

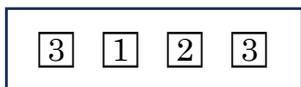
Cさんの予想 ② ③ ① ③

--

Dさんの予想 ① ③ ② ④

--

[せいかい]



(2) Aさん、Bさん、Cさん、が予想したけっかから、[せいかい]に入るカードのならば方を考えて、わくの中の □ に数字を書き入れましょう。

[けっか]

Aさんの予想

Bさんの予想

Cさんの予想

[せいかい]

<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

(3) AさんとBさんとCさんの3人が予想したけっかから、[せいかい]に入るカードのならば方を考えて、わくの中の □ に数字を書き入れましょう。

[けっか]

Aさんの予想

Bさんの予想

Cさんの予想

[せいかい]

<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
----------------------	----------------------	----------------------

(4) Aさん、Bさん、Cさん、Dさんが予想したけっかから、[せいかい]に入るカードの並び方を考えて、わくの中の □ に数字を書き入れましょう。

[けっか]

Aさんの予想

Bさんの予想

Cさんの予想

Dさんの予想

[せいかい]

<input type="text"/>				
----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

⑤ 次のようなきまりで、六角形の図形に数字を書きこむゲームをします。

<きまり>

- ・六角形を6つの等しいわくに分けます。
- ・6かしのわくに1つずつ、1から8の数字を書きこみます。ただし、1から8の数字はそれぞれ1回しか書きこみません。そのため、書きこまない数字が2つあります。
- ・書きこみ終わったら、2つの計算ほうほう〔計算Ⅰ〕と〔計算Ⅱ〕で、〔答えⅠ〕と〔答えⅡ〕をそれぞれもとめます。2つの計算ほうほうは次のとおりです。

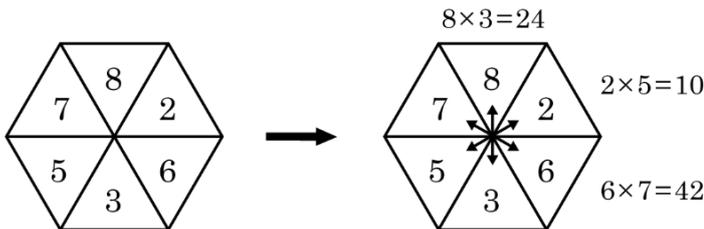
〔計算Ⅰ〕

6つのわくの数字をすべてたします。

〔計算Ⅱ〕

- ① むかい合った数字をかけ算します。
- ② ①で出た3つの答えの中で一番大きい数から一番小さい数を引き算します。

【れい】

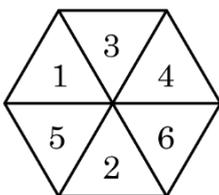


〔計算Ⅰ〕 $8+2+6+3+5+7=31$ 〔答えⅠ〕 …31

〔計算Ⅱ〕 $42-10=32$ 〔答えⅡ〕 …32

次のアからケにあてはまる数を数字で答えましょう。

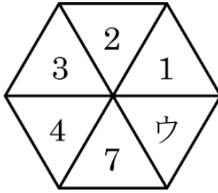
(1)



〔答えⅠ〕 …

〔答えⅡ〕 …

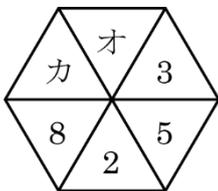
(2)



[答えⅠ] … **23**

[答えⅡ] … **エ**

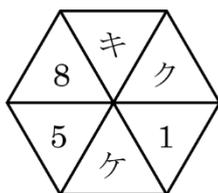
(3)



[答えⅠ] … **25**

[答えⅡ] … **19**

(4) ※キはケより大きいとします。



[答えⅠ] … **28**

[答えⅡ] … **13**